



平成30年3月30日

## 北海道各地の魅力ある漁業地域づくりを選定

～「北海道マリンビジョン21コンテスト2017」結果発表～

「北海道マリンビジョン21コンテスト2017」の審査が行われ、表彰対象地域が選定されました。

北海道マリンビジョン21促進期成会では、地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた活動を通じ、魅力ある漁業地域づくりに寄与することを目的として、北海道マリンビジョン21コンテスト（後援：北海道開発局）を実施しています。（別紙1参照）

平成29年度の取組に対する表彰対象地域は、下記のとおりです。

なお、表彰式は、平成30年7月に開催予定の北海道マリンビジョン21促進期成会総会において行う予定ですので、改めてお知らせします。

### 記

#### ○最優良賞

・「寿都地域マリンビジョン協議会」～水産業振興の目指す姿～

#### ○優良賞

・「砂原地域マリンビジョン協議会」～ほたて昆布きんちゃく～

・「積丹地域マリンビジョン協議会」～さくらます祭り～

・「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」～農泊の推進（渚泊推進事業）～

・「雄武地域マリンビジョン協議会」～つくり育てる漁業の推進～

#### ○奨励賞

・「松前江良地域マリンビジョン協議会」～漁港内における養殖・蓄養等への取組～

・「遠別地域マリンビジョン協議会」～青年部連携地域活性化実行委員会の取組～

※受賞理由等については、別紙2参照

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

農業水産部 水産課 課長補佐 星 道太（内線 5593）

農業水産部 水産課 漁港漁村係長 落野 憲人（内線 5599）

北海道開発局ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/>



## 北海道マリンビジョン21コンテスト

「北海道マリンビジョン21促進期成会（※）」では、平成20年度から各地域で策定された地域マリンビジョンの実現に貢献する優れた取組を表彰する「北海道マリンビジョン21コンテスト」を開催しています。表彰された取組を広く公表することで、その更なる推進と他地域への活動の波及を図り、活力ある北海道水産業・漁業地域の実現を目指しています。

平成29年度は第10回目のコンテストに当たることから、昨年度までの「総合部門」「個別取組部門」の表彰を、「優良賞」「最優良賞」「奨励賞」に見直して実施しました。

「優良賞」は、地域マリンビジョンの実現に向け、地域マリンビジョンに計画された取組を着実に実行し、他地域への波及や手本となり、特に持続性が期待される取組を実施した地域を表彰するものです。「最優良賞」は、優良賞のうち、最も優良と評価されるものを表彰するものです。「奨励賞」は、地域マリンビジョンの計画された取組であるが、発展途上なものであり、支援を受けることでその発展性や持続性が期待される取組を実施した地域を表彰するものです。

表彰対象の選定は、学識経験者等からなる、北海道マリンビジョン21コンテスト審査委員会を開催して行っています。

### （※）北海道マリンビジョン21促進期成会

地域マリンビジョンの円滑な実施をもって、北海道マリンビジョン21の実現を図っていくため、各地域間の情報交換、交流及び広報活動を行い、魅力ある漁業地域づくりに寄与することを目的に平成8年度に設立。

会員は、地域マリンビジョンを策定した市町村及び漁業協同組合で、会員数は現在30市町・32漁業協同組合。会長は森利男苫前町長、事務局は苫前町が務めている。



平成29年度 北海道マリンビジョン21コンテスト審査委員会

委員名簿

	氏 名	所属・役職
委員長	長野 章	公立はこだて未来大学 名誉教授
委 員	片石 温美	中央大学研究開発機構 准教授（客員）
委 員	圓山 満久	北海道開発局農業水産部 部長
委 員	山下 成治	札幌大谷大学社会学部地域社会学科 教授

\* 敬称略。委員は五十音順

## 「北海道マリンビジョン21コンテスト2017」の選定

「北海道マリンビジョン21コンテスト」(主催:北海道マリンビジョン21促進期成会、後援:北海道開発局)の表彰対象を以下のとおり選定しました。

なお、表彰式は、平成30年7月に開催予定の北海道マリンビジョン21促進期成会総会において行う予定ですので、改めてお知らせいたします。

### 最優良賞

優良賞のうち、最も優良と評価される取組を実施した地域を表彰するものです。

- 「寿都地域マリンビジョン協議会」  
～水産業振興の目指す姿～

### 優良賞

地域マリンビジョンの実現に向け、地域マリンビジョンに計画された取組を着実に実行し、他地域への波及や手本となり、特に持続性が期待される取組を実施した地域を表彰するものです。  
なお、選定対象は、地域マリンビジョンのモデル地域16地域及び推進地域5地域です。

- 「砂原地域マリンビジョン協議会」  
～ほたて昆布きんちゃく～
- 「積丹地域マリンビジョン協議会」  
～さくらます祭り～
- 「根室地域(歯舞地区)マリンビジョン協議会」  
～農泊の推進(渚泊推進事業)～
- 「雄武地域マリンビジョン協議会」  
～つくり育てる漁業の推進～

## 奨励賞

地域マリンビジョンに計画された取組であるが、発展途上なものであり、支援を受けることでその発展性や持続性が期待される取組を実施した地域を表彰するものです。

- 「松前江良地域マリンビジョン協議会」  
～漁港内における養殖・蓄養等への取組～
  
- 「遠別地域マリンビジョン協議会」  
～青年部連携地域活性化実行委員会の取組～

## 最優良賞

### 「寿都地域マリンビジョン協議会」

#### ～水産業振興の目指す姿～

#### 【協議会の概要】

「寿都地域マリンビジョン協議会」は、山・川・里・海がコンパクトにまとまった特徴的な自然を活かしつつ、水産業を核として地域産業や他産業との広域・異業種連携を通じて、「寿都・後志ツーリズム交流文化圏」の形成を目指しています。

#### 【取組概要と選定理由】

寿都産かきを「<sup>ことぶき</sup>寿かき」として商標登録し、ポスター作成により知名度向上を図る等のブランド力の強化と販路拡大の取組を実施しました。さらに、鮮度保持の効果と付加価値を高めるため、秋サケやヒラメなどの活<sub>メ</sub>技術を向上させる取組や、海水シャーベット氷施設を整備しました。

平成 29 年 6 月 3 日にオープンした「そば処<sub>練</sub>御殿」は漁で栄えた時代を象徴する歴史的建造物「練御殿」の土蔵を改修したものであり、寿都産の魚介類や野菜を使用した料理を提供し、寿都の歴史を感じながらまちの魅力発信や交流人口の拡大に繋げる取組です。

また、年間 300 万人の観光客が訪れるニセコ地域にて、寿都町の魅力を発信することを目的として、レストランと鮮魚ショップを併設した「寿都アンテナショップ神楽」を平成 29 年 11 月 11 日にニセコ町に開設しました。地元ニセコ地域の人々に加え、国内外の観光客から広く利用されており、交流人口の拡大や水産物のブランド化などへの波及効果が期待されます。

これらの取組は、水産業の振興と地域経済の活性化の取組として、先駆的・独創的であり、他地域マリンビジョンへのモデルとなる総合的な取組であることが高く評価されました。



活<sub>メ</sub>の様子



海水シャーベット氷の利用



そば処<sub>練</sub>御殿のポスター

## 優良賞

### 「砂原地域マリンビジョン協議会」

#### ～ほたて昆布きんちゃく～

##### 【協議会の概要】

「砂原地域マリンビジョン協議会」は、水産業を核として、地域産業が相互に協働・連携し、地域生産品のブランド化を図り、ブルーツーリズムとグリーンツーリズムを組み合わせた地域独自の観光戦略を実施するとともに、核となっている水産加工業の高次加工への取組、消費者への水産物安定供給を目指しています。

##### 【取組概要と選定理由】

平成 23 年度から漁協女性部が地元の昆布とホタテを用いて開発・販売した「ほたて昆布きんちゃく」は、平成 28 年度に北海道が認定する「北のハイグレード食品+」に認定されたことにより、販路拡大や新たな商品開発が期待されています。

「北のハイグレード商品+」に認定されたことにより、パッケージデザインや正味数量の変更を条件にバイヤーからの引き合いを受け、多角的に検討を行いました。

漁協女性部によるこれらの取組は、未利用資源の有効活用や付加価値化等、地域水産物のブランド化や消費拡大の取組として高く評価されました。



ほたて昆布きんちゃく



漁協女性部による PR



## 優良賞

### 「積丹地域マリナビジョン協議会」

#### ～さくらます祭り～

##### 【協議会の概要】

「積丹地域マリナビジョン協議会」は、道内有数の観光地が持つポテンシャルと、これまで町内で取り組んできた環境保全・文化伝承等の成果を踏まえ、漁港とその周辺における新たな交流拠点整備を契機として、地域産業の連携・協働により雇用の場を創出し、多くの人が集う、活力と賑わいのある地域を目指しています。

##### 【取組概要と選定理由】

「さくらます祭り」は、早春の漁業資源であるサクラマスを活用し、夏季に限定的となっている観光シーズンの長期化を図るとともに、保護水面河川「余別川」で実施している種苗放流や森林保全活動を町内外に伝えることを目的に実施しました。

サクラマスの保護水面についての講演のほか、稚魚の放流、サクラマス料理の試食等を実施しました。イベント当日は町内外からの来場者で賑わいをみせ、稚魚放流や、余別川流域の散策、若手漁業者によるサクラマス料理の提供により、来場者は「学び」と「食」の両方で余別地区の自然を楽しみました。

これらの取組は、春の観光資源としてのサクラマスの認知度向上を図るとともに、環境保全の重要性を伝える取組として高く評価されました。



サクラマス料理提供の様子



稚魚の放流

## 優良賞

### 「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」

#### ～農泊の推進（渚泊推進事業）～

##### 【協議会の概要】

「根室地域（歯舞地区）マリンビジョン協議会」は、地域水産物のブランド化を図り、水産業はもとより地域経済や社会の活性化を目指しています。

特に、歯舞水産物ブランド化を中心テーマに位置付け、ブランド化への取組を通じた漁業振興による地域の活性化に向けて関係者が一体となって取り組み、活気のある地域づくりを目指しています。

##### 【取組概要と選定理由】

都市との交流・賑わいのある漁村地域づくりを目的に、地場産水産物のブランド化や各種イベント、遊覧船による周遊観光の他、各種体験学習や漁業者宅へのホームステイを積極的に実施するとともに、旅行会社や北方領土県民会議等に出向き、歯舞地域民泊・観光の誘致を行い、訪れた観光客や学生に対し、漁業体験や民泊を提供しています。

また、歯舞漁協関係者が、各地で開催されている農泊や観光シンポジウムに講師として当地区の取組について講演し、農泊（渚泊）の推進を図っています。さらに、農泊事業に取り組んでいる他地域を視察することで、当地域での新たな取り組みを模索し、さらなる誘致活動の拡大を図っています。

これらの取組は、道内における農泊（渚泊）の先駆的な取組であるとともに、地域資源を活かした新たな産業の創出が期待される取組として高く評価されました。



農泊（渚泊）の様子



市場見学の様子

## 優良賞

### 「雄武地域マリナビジョン協議会」

#### ～つくり育てる漁業の推進～

##### 【協議会の概要】

「雄武地域マリナビジョン協議会」は、水産物の品質・衛生管理の強化と、増養殖等のつくり育てる漁業についての推進を両立し、信頼有る雄武産水産物の地位確立を目指しています。また、雄武産品の良さを地元関係者が再認識し、地域産業が連携してPRすることで、地域振興に繋げることを目指しています。

##### 【取組概要と選定理由】

養殖昆布の越冬やウニの増殖等に利用されている元稲府漁港内の静穏域の更なる有効活用を図るため、ナマコ増殖用施設を設置して、稚ナマコを放流し、育成環境の調査を行いました。また、外海に近い環境での調査を行うため、西外防波堤背後の水面を活用した養殖調査も実施しました。

元稲府漁港内の静穏水域の天然ナマコに加え、昨年度から西外防波堤付近に調査範囲を広げ、親ナマコを放流することにより、より効果的な資源増大が期待されています。

これらの取組は、漁港水面を有効活用し、資源の維持・増大に結びつく取組として高く評価されました。



元稲府漁港内に設置されたナマコ増殖用施設

## 奨励賞

### 「松前江良地域マリンビジョン協議会」 ～漁港内における養殖・蓄養等への取組～

#### 【協議会の概要】

「松前江良地域マリンビジョン協議会」は、基幹産業である漁業を基軸としつつ、漁業のもつ多面的な魅力を再発見し、日常の漁村風景に溶け込む時間を創出、観光産業と教育の結びついたまちづくりを目指しています。

#### 【取組概要と選定理由】

江良漁港では、江良蓄養施設管理委員会や松前さくら漁協の蓄養部会が中心となり、アワビ養殖、ホッケ蓄養、ウニ蓄養の試験を行っています。

これらの取組は、漁業者収入の増加につながるものとして期待されるものの、試験段階の取組として多くの課題も抱えています。このため、関係者が一体となり支援することで発展や持続性が期待される取組として評価されました。



アワビ養殖試験



ウニ蓄養試験

## 奨励賞

### 「遠別地域マリビジョン協議会」

#### ～青年部連携地域活性化実行委員会の取組～

##### 【協議会の概要】

「遠別地域マリビジョン協議会」は、農林水産業の連携により、北海道のモデルとなる環境にやさしいクリーンな産地形成を目指すとともに、地域資源を有効活用し、クリーンな農林水産物のハーモニーで地域の元気と食の安全・安心を支える地域を目指しています。

##### 【取組概要と選定理由】

遠別地域では、漁協青年部、商工青年部、農協青年部、遠別町役場組合青年部が「単独ではなく各産業が連携することで、今までにない活動ができないか」という観点で、「青年部連携地域活性化実行委員会」を設立し、地域活性化の取組を開始しました。

平成 29 年 8 月 19 日の仮装行灯パレード・仮装盆踊り大会にて、初の取組として、漁協、農協、商工会の各青年部が連携し、水産業などの地元産業の PR も兼ねてビアガーデンを開催するなど、若者交流事業を行い活動しています。

これらの取組は、水産業など地元産業の振興や地域活性化が大いに期待されるものであり、関係者の一層の連携により発展や持続性が期待される取組として評価されました。



設立総会



イベントの様子